

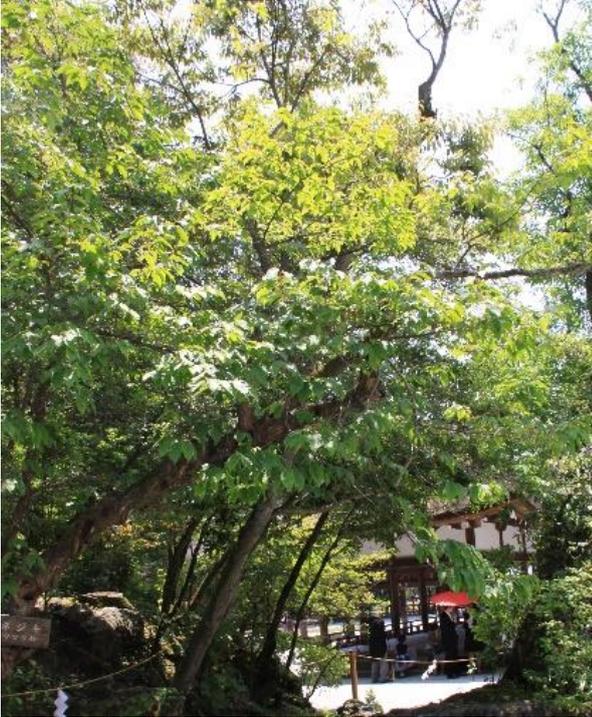
【樹木の部屋】

ネジキ (ツツジ科ネジキ属 *Lyonia ovalifolia* ssp. *neziki*)

和名：ネジキ (掬木) **別名**：カシオシミ **英名**：

ツツジ目 落葉小高木 **原産地**：日本、台湾、中国

花言葉：悲しみの涙 **花の色**：白



← 写真-1 ネジキ

撮影日：2016年05月21日

撮影場所：上賀茂神社(京都市)にて

撮影者：M さん

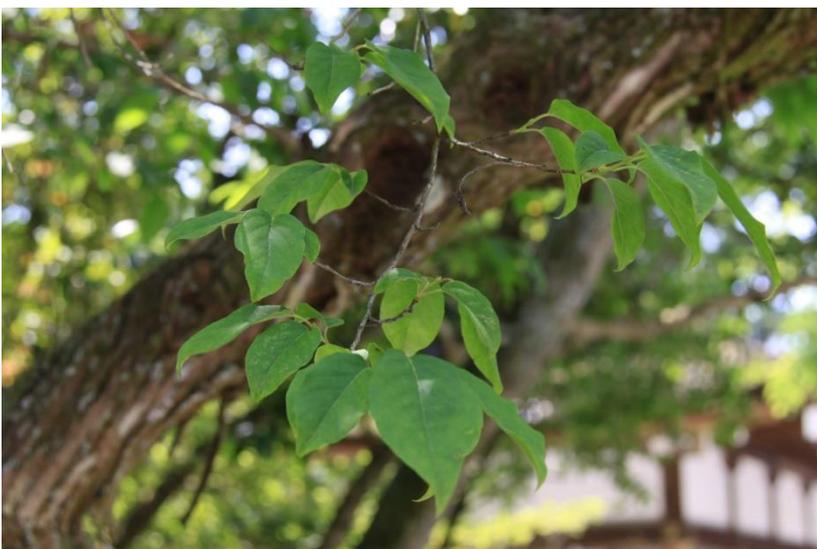


→ 写真-2 ネジキの葉

撮影日：2016年05月21日

撮影場所：上賀茂神社(京都市)にて

撮影者：M さん



← 写真-3 ネジキの幹

撮影日：2016年05月21日

撮影場所：上賀茂神社
(京都市)にて

撮影者：M さん

和名の由来は、幹がねじれることから。太い木では樹皮が白っぽい褐色で、縦に細長く剥がれるので、それを見れば「ねじれ」ているのがわかります。材そのものも「ねじれ」ているため、かつて燃料を薪に頼った頃には、斧の刃がまっすぐに入らず、割りにくい木として有名だったそうです。六甲山地に多く生育している樹木で、幹の特徴から、覚えやすいので初級の樹木といえます。ツツジの仲間で、初夏にスズランのような白い花を多数つけます。

葉や花に毒があるので、要注意です。

< ちょっと一言 >

近縁種であるアセビなどと同様有毒植物であり、テルペノイドのグラヤノトキシン(grayanotoxin) I~III などを含む。かつて、島根県の三瓶地方では「霧酔病」といわれる牛や馬の原因不明の疾病が流行ったが、これはネジキを食べたことによる中毒であることが後に判明したそうです。